

和歌山県みなべ町

農業生産法人 有限会社 紀州高田果園

環境
保全型
農業

南高梅発祥農園で、
梅の有機栽培に取り組む



取組内容

- 南高梅発祥農園としてのブランド力向上のため、自社にて植物性残渣などの資材を再利用した堆肥・特殊肥料を生産するなど、循環型農法により、有機JAS・特別栽培の取組を実施。また、南高梅を使用した梅干し、梅酒の生産から加工・販売まで、自社で一貫して取り組む。
- 遊休農地、耕作放棄地を利用した規模拡大を進めるとともに、事業規模拡大に向けた人材、担い手不足の課題に対応するため、NPO法人南高梅の会(事例 89)との農福連携による障がい者雇用を実施。
- 百貨店、ギフトショップなど、高級品を中心とした国内市場の開拓。
- FSSC22000認証の取得による欧州を中心とする海外オーガニック市場への輸出。

取り組みに至った経緯

- 規模拡大を進めるため、農業経営を2004年に農業生産法人化。
- 2005年に和歌山県特別栽培農産物(減化学農薬、減化学肥料)の認証を取得。
- 2011年に有機JAS認証を取得し、本格的な環境保全型農業に取り組む。現在、グループ企業を含め、8.3haで梅の栽培を行い、有機JAS栽培は全体の約8割を占める。



有機JAS認証 昔ながらのしそ梅干

今後の展望

- 有機梅栽培を行う農家等とグループとして取り組み、技術革新により生産量や品質を高め、有機商品の多様化を図る。
また、海外への輸出販路を拡大しながら、海外における南高梅ブランド確立に向けた取組を展開。

